

原乳の出荷制限の経緯

福島県酪農業協同組合

- 平成23年3月11日 通常集乳CS・メーカー貯乳、一部集乳中・・・震災後廃棄
3月12日 集乳中止、メーカー被災、会津中央乳業・角田MP稼働
3月18日 酪王乳業受入開始（50t）
3月19日 酪王製造開始、受入（52t）・・・・・・製品・原乳廃棄
福島乳業受入開始（2t）・・・・・・廃棄
夕方福島県から川俣町の生乳出荷制限指示
福島県第1回モニタリング検査実施（市町村単位）
3月20日 県内集乳停止
福島県から県全域の生乳出荷・自家消費自粛要請
3月21日 国から福島県産原乳の出荷制限指示
3月22日 第2回モニタリング検査実施（市町村単位）
3月29日 第3回モニタリング検査実施（市町村単位）
4月4日 出荷停止解除に向けたモニタリング検査方法について農水から
通知
4月7日 第1回モニタリング検査サンプリング（CS単位）
4月8日 会津地域解除
4月11日 会津地域集乳開始
4月12日 第2回モニタリング検査サンプリング（CS単位）
4月16日 中通り・いわき地域解除
4月18日 中通り・いわき地域集乳開始
4月21日 相馬市・新地町解除
4月22日 「警戒区域」「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」発表
4月23日 相馬市・新地町集乳開始
4月27日 福島県産牛乳発売開始
5月1日 川俣町（山木屋を除く）・南相馬市（指示区域を除く）解除
5月3日 川俣町・南相馬市集乳開始
6月8日 「緊急時避難準備区域」解除
6月10日 「緊急時避難準備区域」集乳開始
6月14日 津島避難牧場集乳開始
現在 生乳モニタリング検査4月25日以降「検出せず」
県モニタリング検査 CSで週1回
酪農団体自主検査 CSで週6回、ローリーで月1回
平成24年度は自給飼料について、牧草は全面給与制限し除染
更新中、その他は給与前検査で「不検出」のみを給与。

乳牛の移動制限の経緯

福島県酪農業協同組合

- 平成23年3月21日 国から福島県産原乳の出荷制限指示
- 4月4日 出荷停止解除に向けたモニタリング検査方法について農水から通知（制限地域からの移動禁止）
- 4月8・9日 育成牛預かり移動
- 4月11日 「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」の設定発表
- 4月20日 畜産対策会議で20～30kmの家畜移動について協議
- 4月22日 「警戒区域」「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」発表
- 4月30日 農水・県による計画的避難区域等からの家畜の移動に係る説明会開催
- 5月9日 計画的避難区域からの乳用牛の移動について県畜産課と協議
- 5月10日 乳用牛移動のための現地説明会
- 5月11日 計画的避難区域（飯舘村・山木屋）の移動のための第1回モニタリング検査サンプル採取
- 5月25日 計画的避難区域（飯舘村・山木屋）の経産牛移動制限解除
- 5月30日 計画的避難区域（津島）の移動のための第1回モニタリング検査サンプル採取
- 6月14日 計画的避難区域（津島）の経産牛移動制限解除
- 8月23日 16農家の移動先での出荷解除

平成23年10月13日
福島県農林水産部畜産課

福島県産原乳の出荷制限解除状況について

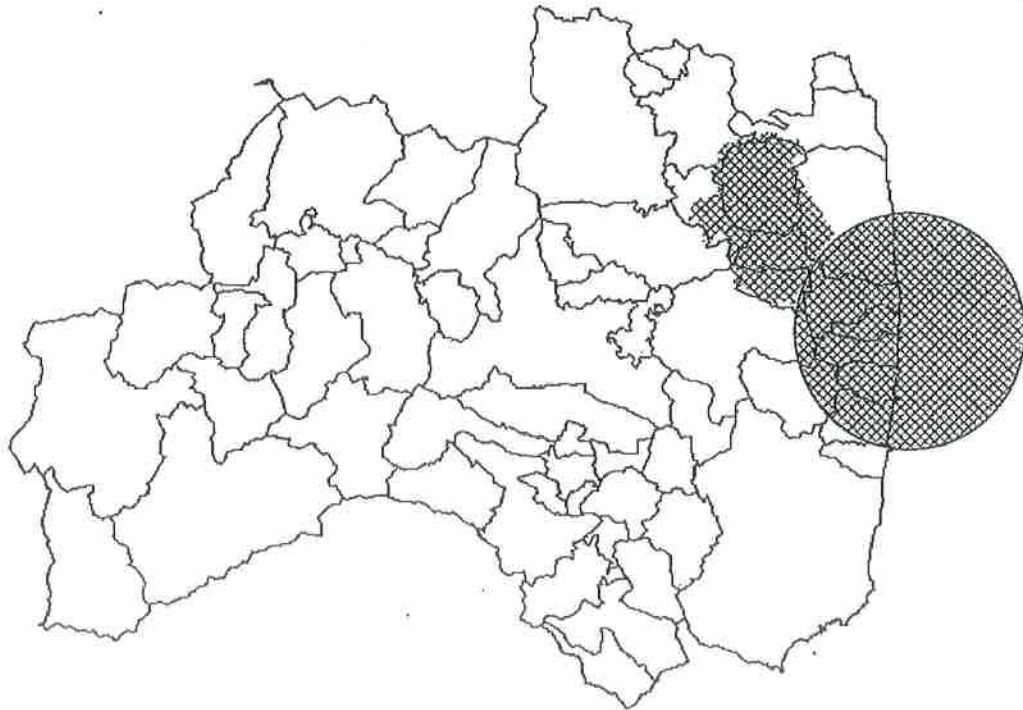
平成23年3月21日付けで原子力災害対策特別措置法に基づく農産物の出荷制限が指示された本県産原乳は、食の安全を最優先に取り組んだ酪農家、関係者の努力により、現在では東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲及び計画的避難区域を除き、下記のとおり県内全域において出荷が解除されています。

記

1 出荷解除市町村等

 : 出荷解除区域

 : 出荷制限区域



2 これまでの解除経過

3月21日(月)

原子力災害対策本部長・内閣総理大臣より福島県（全域）に出荷制限指示

4月4日(月)

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」が原子力災害対策本部より示される。

※クーラーステーション又は乳業工場単位で試料採取を行い、概ね1週間毎3回連続で要件を満たす場合に、その単位に属する市町村単位で解除する。

4月8日(金)

会津地域で酪農家が所在する7市町（喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町）の出荷制限を解除

4月16日(土)

中通り・いわき地域の25市町村（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村を除く区域）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村）の出荷制限を解除

4月21日(木)

浜通りの2市町（相馬市、新地町）の出荷制限を解除

5月1日(日)

中通り、浜通りの2市町（南相馬市の一部（原町区及び東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲を除く区域）、川俣町（山木屋地区を除く区域））の出荷制限を解除

6月8日(水)

中通り、浜通りの3市村（南相馬市（原町区）、田村市（旧都路村のうち東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲を除く区域）、川内村（東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲を除く区域））の出荷制限解除

10月7日(金)

会津地域、中通り、浜通り地域の酪農家が所在しない16市町村(会津若松市、桑折町、天栄村、檜枝岐村、只見町、北塩原村、西会津町、会津坂下町、湯川村、柳津町、金山町、昭和村、棚倉町、玉川村、広野町及び楢葉町(東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲を除く区域)の出荷制限解除

※ 東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmの範囲及び計画的避難区域に指定されている区域では、生産をしていないため、市場に流通していません。

福島県酪農協管内除染進捗状況

平成26年4月3日現在

	対象面積(a)	除染済み面積(a)	除染進捗率	備考
県北	29,103	23,825	82%	避難休業者の面積を除く
県中	34,367	27,440	80%	
県南	31,642	23,377	74%	
浜	17,695	1,861	11%	避難休業者の面積を除く
合計	112,806	76,503	68%	

- ・対象面積は『永年牧草地の除染対策が必要な対象面積報告書』からの積算。
- ・廃業、または小野地区との合併の際に全農へ加入した農家については除く。
- ・デントコーン畑については含まれていないが、一年生牧草については農家申告により対象面積にあがっているものについては含まれる。
- ・浜についてはいわきを含め、全て市町村除染対象地域となっているが、実施されたのは川内村のみ。

原乳出荷制限解除後の対応

酪農家

元気な牛から原乳を絞ります。



エサになる牧草や飼料は
安全性の確認されたものを与えています。

ミルクローリーが酪農家を回って原乳を集めます。



モニタリング検査

集められた原乳は放射能検査を受けます。



全ての酪農家から運ばれた原乳を福島県では
福島県農業総合センターで週1回検査をしています。
加えてそれ以外の日については、生産者団体が
自主検査を行っています。



県内の酪農家から出荷された原乳は
全て安全性が確認されています。

酪王乳業工場

モニタリング検査の安全が確認されてから使用します。



風味

温度

成分

細菌数

抗生物質

安全性の確認された原乳は5種の受け入れ検査をして、牛乳やカフェオレ・ヨーグルトなどに使用しています。

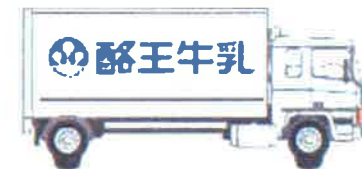
出荷準備

製品も第三者機関で放射能検査をお願いしています。



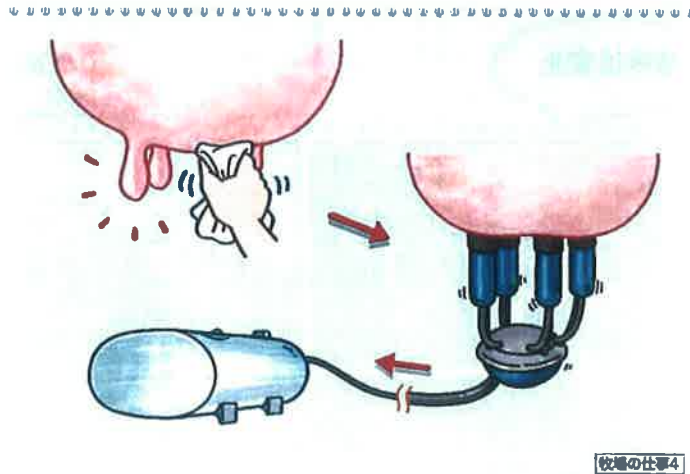
これまで出荷された全ての製品は
安全性が確認されております。
検査結果は当社 HP でもご覧いただけます。
www.rakuou-milk.co.jp/

安全でおいしい牛乳が消費者のみなさまの元へ!



酪農の放射性物質の基準と検査 (セシウム134・137)

〔原 乳〕



国の基準
50Bq/kg以下

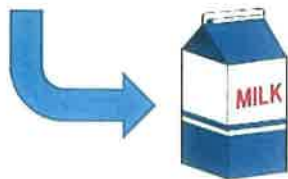
自主検査基準 10Bq/kg以下
(検出限界値10.0で「不検出」)



自主検査基準 10Bq/kg以下
毎月1回57台検査
(検出限界値3.0で「不検出」)

福島県モニタリング検査基準 50Bq/kg以下
毎週月曜日県内7カ所の
クーラーステーションで検査
(平成23年4月25日以降「不検出」<6.0)

自主検査基準 10Bq/kg以下
火曜から日曜日まで7カ所の
クーラーステーションで検査
(検出限界値7.0で「不検出」)



各メーカーによる自主検査

〔飼 料〕

放牧は禁止

除染を完了した草地の牧草
 国の基準 100Bq/kg以下
 地域毎に給与解除
 自主基準 30Bq/kg以下
 圃場毎に給与解除



除染をしていない草地は給与不可



飼料作物
 国の基準 100Bq/kg以下
 地域毎に給与解除
 自主基準 30Bq/kg以下
 圃場毎に給与解除

牧場の仕事5
 配合飼料
 飼料工場で検査済み

〔敷き料・堆肥〕

敷き料(稲ワラ・オガクズ)
 国の基準 400Bq/kg以下
 自主基準 100Bq/kg以下

堆肥
 国の基準 400Bq/kg以下





放射性物質測定機器(自給飼料他)
日立アロカ
CAN-OSP-NAI



放射性物質測定機器(生乳)
アトムテック
AT1320A



放射性物質測定機器(自給飼料)
ベルトール
ガンマ線スペクトロメーター LB2045



検査室風景



検査室風景



放射性物質測定機器(土壌、生乳)
テクノエックス FD-08Cs100
オートサンプラー式



放射性物質測定機器(土壌、生乳)
テクノエクス FD-08Cs100
オートサンブラー式



放射性物質測定機器(自給飼料)
アトムテック
AT1320A



放射性物質測定機器(自給飼料)
アトムテック
AT1320A

ミネロ・パイロット・ファーム プロジェクト概要

目的: 収益性とQOLの向上を目指す共同型酪農経営モデルの展開 + 被災酪農家の雇用創出と経営再開への支援

